

CT検査を受けられる患者さんへ（検査説明書）

Ver 2

お名前	予約日	予約時間
様	月 日 ()	時 分

1. CT検査とは？

- ・CTは、身体の周りからエックス線を照射し、透過したX線をコンピューターで解析することによって様々な角度の断面図を得ることができる検査です。レントゲンや他の検査では分かりにくい病変の診断や、病変の形や大きさ、進行度を把握することができます。
- ・検査にかかる時間は、造影剤を使用しない撮影では5～10分、造影剤を使用する検査の場合は10～20分です。



2. 造影剤とは？

- ・造影剤とは、主治医が必要と判断した時のみ使用する検査薬のことで、臓器や血管の情報をより多く得るために使用致します。投与量は体重によって決まりますがおおよそ100mlほど使用し、通常は腕から注射をして投与致します。造影剤が体内に入ると体が熱く感じますが、これは造影剤の特徴であって異常ではありませんのでご安心ください。
- ・次に該当する方は造影剤を使用できない場合がございますので、必ず主治医にお知らせください。
 - ・造影剤アレルギーがある
 - ・気管支喘息で治療中である
 - ・花粉症や食物アレルギーである
 - ・アトピー体質である
 - ・重篤な心臓病、肝臓病、腎臓病、甲状腺の病気、けいれんがある
- ・造影剤は安全性が高い検査薬ですが、次のような副作用が生じる場合がございます。万一副作用が発生した場合でも、当院では迅速な対応が可能な体制を整えておりますので安心して造影検査をお受けください。
 - ・軽症：嘔気、嘔吐、かゆみ、発疹、発赤（起こる確率約1%）
 - ・重症：血圧低下、息苦しさ、意識消失（起こる確率約0.02%）
- ・造影剤が血管外（皮下）に漏れて注射した部位が腫れる場合がございます。ほとんどは時間経過と共に自然に吸収されますが、ごくまれに処置が必要になる場合がございます。その場合は、当院にて速やかにご対応させていただきますのでご安心ください。
- ・血液をサラサラにするお薬を服用している方は、血液が止まりにくいいため注射した部位が腫れる場合がございます。十分な圧迫止血が必要ですのでお知らせください。
- ・針を刺した時に、近くの神経に触れることがあります。手指に広がる痛みやしびれを感じた場合は、速やかにお知らせください。
- ・糖尿病の方でビグアナイド系の治療薬を服用している方は、**造影検査前日の夜から検査当日の夜まで休薬が必要となりますので、主治医にご確認ください。**



3. 被ばくについて

- ・CT検査ではエックス線による被ばくを伴います。そのため、検査の必要性が被ばくのリスクを上回ると判断した場合のみ検査を行います。検査を行うことによって病気の早期発見や病状を把握することができ、早期治療が可能となります。
検査の必要性についてのご質問は担当医師に、また被ばくについてのご質問や、その他疑問点がございましたら看護師や診療放射線技師にご相談ください。
- ・CT検査で患者さんが受ける放射線の量（被ばく線量）は検査部位によって異なりますが、おおよそ5～30ミリシーベルトです。この線量によって健康に影響が起こる可能性は非常に低いと考えられています。
- ・当院では、被ばくの最適化を図るために定期的に線量及び画質を評価し、被ばく線量が必要最小限に抑えられるように努めております。

4. お願い

- ・X線を使用致しますので、妊娠中の方やその可能性がある方は必ずお知らせください。
- ・造影剤を使用しない患者さんで検査部位が「腹部、骨盤」の方は、**検査予約時間の4時間前以降は何も食べないでください。**水分は検査直前までお摂りいただいて結構です。
- ・造影剤を使用する方は、検査部位に関わらず**検査時間の4時間前以降は何も食べないでください。**水分は検査直前までお摂りいただいて結構です。
- ・造影剤は尿として体外に排泄されるため、検査後は普段よりも多めに水分をお摂りください。
- ・授乳中の方は、造影剤投与後48時間は授乳を避けることを推奨しております。
- ・服用中のお薬がある場合は主治医にご確認ください。
- ・検査部位によっては息を止めながらの撮影になりますので、担当者の指示に従ってください。
- ・検査部位によっては検査着にお着換えいただくこともございますので、ご協力をお願い致します。
- ・除細動器を体内に埋め込まれている方は、検査をお受けいただけない場合がございます。
- ・その他ご質問やご不明な点がございましたら、スタッフまでお声掛けください。

